

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

▶ 今月の特集は脳機能イメージングがテーマです。脳血管障害、脳腫瘍、認知症、精神疾患に分けて書かれ、脳機能イメージングの先進的な内容が紹介されており、この領域を専門とされない方にとってもわかりやすい記述となっています。是非ご一読いただければと思います。

▶ 脳機能イメージングのなかで最近話題になっているのが何と言ってもアミロイド PET です。エーザイは 2022 年 9 月 28 日のプレスリリースにおいて、バイオジェン社と共同で開発を行ってきたアルツハイマー型認知症の疾患修飾薬であるレカネマブが脳内アミロイドベータの蓄積を減少させ、臨床症状の悪化を有意に抑制することが判明し、FDA の迅速審査に付される旨の発表を行いました。順調に進むと 2023 年のはじめに FDA で承認が得られ、同年中には欧州と日本でも承認されるのではと期待されています。アルツハイマー型認知症の治療薬としてはこれまで疾患の進行を抑える薬剤しかありませんでしたが、根本原因の治療薬となると、疾患の罹患頻度が高く、介護などの社会的な損失が膨大であることも併せ、社会的にも大変インパクトのある新薬です。この薬剤を使用する際にアミロイドの沈着を評価するモダリティとして PET がここに来て俄然注目されています。血液検査により評価されるバイオマーカーとの使い分けなど検討課題は残されていますが、承認されれば PET の検査数が大きく増加することが予想されます。

▶ 脳以外の領域でも注目されている有望な PET 製剤があります。腫瘍領域では前立腺癌の診断に用いられる PSMA、ポスト FDG とも目されているさまざまな腫瘍に集積する FAPI があり、これらの製剤は核医学治療への使用も視野に入っています。心臓領域では画質と定量性の双方において優れる F-18 標識の心筋血流製剤 flurpiridaz の治験が進行しています。これまで約 20 年の間、FDG のみが使用されてきた一般病院の PET 診療は向こう数年で大きく変わるのではと期待しています。

橋本 順

「臨床放射線」第 67 巻 第 13 号

2022 年 12 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。